

仙台地域の水利用・水循環の変化

昭和40年頃～現在

- 森林・水田が減少し、人口の増加と集中化に伴い市街化区域が拡大しています。
- ダムによる水道水源の確保と、上水道・下水道網の効率的な整備と広域化が進められています。
- 下水道の整備に伴い、河川水質が大幅に改善してきましたが、合流式下水道の雨天時流出負荷の影響が残されています。

● 宅地の拡大

100万都市への成長に伴い中流部の宅地化が進みました。

昭和39年



● ダムによる水道水源の確保

釜房ダム、七北田ダムの水源を確保するとともに、七ヶ宿ダムからの水道供給がはじまりました。



七北田ダム

● 下水処理場の整備

下水処理場の整備により、河川への汚水の流出が減りましたが、大量の処理水が海に直接放流されています。



南蒲生浄化センター

平成12年

住宅地になった部分



東北自動車道仙台南IC付近

● 河川水質の大幅な改善

アユが泳ぐ川が復活しました。



広瀬川